

# 「逃げる」施策

## 情報提供の取組み

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。



**【気象庁】**  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>  
 気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。  
 (出典:気象庁ホームページより)

**【国土交通省 防災情報提供センター】**  
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>  
**<携帯サイト>**  
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>  
**【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】**  
<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>

**テレビ画面**

**視聴方法**

- NHK放送衛星の時に、「リモコンの「d」ボタンを押す
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

**【大阪府 洪水リスク表示図】**  
<http://www.river.pref.osaka.jp/>  
 地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。

**【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】**  
[http://www.osaka-kasen-portal.net/subou/kouzuiyosoku/index\\_kouzuihtm](http://www.osaka-kasen-portal.net/subou/kouzuiyosoku/index_kouzuihtm)  
 石津川流域の雨量、流域内主要河川の水位状況などを確認できます。

**【おおさか防災ネット】**  
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>  
 緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

防災情報を携帯電話で入手できます。  
 下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

**川の防災情報**

雨量の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。  
<http://www.river.go.jp/>  
 直接アクセスしてください。

**大阪府河川情報**

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。  
<http://www.cds.osaka-bousai.net/subou/mobile/index.html>  
 直接アクセスしてください。

**防災情報メール**

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。  
[touroku@osaka-bousai.net](mailto:touroku@osaka-bousai.net)

## 石津川水系河川整備計画(原案)の詳しい内容について知りたい方は

- 以下のホームページに掲載しています。
  - 大阪府都市整備部河川室 (アドレス [http://www.pref.osaka.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/))
  - 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ (アドレス <http://www.pref.osaka.jp/otori/shokai.html>)
- 以下の場所に資料を備えています。
  - 大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
  - 大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)
  - 大阪府鳳土木事務所(泉北府民センタービル1階)
  - 堺市役所 河川水路課(堺市役所高層館20階)
  - 堺市各区役所市政情報コーナー

閲覧と意見募集期間は、  
**5月17日(金)から**  
**5月30日(木)まで**

## ご意見はこちらまで

- 《郵送の場合》  
 〒593-8324  
 堺市西区鳳東町4丁390番地1 泉北府民センタービル内  
 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて
- 《FAXの場合》  
 FAX 072-275-1588 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて
- 《電子メールの場合》  
 メールアドレス [otoridoboku-07@gbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:otoridoboku-07@gbox.pref.osaka.lg.jp) 大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて
- いただいたご意見を踏まえ河川整備計画の対応方針の検討を進めてまいります。
- 

# 石津川水系 河川整備計画(原案)

をとりまとめました。

平成25年7月30日(火)  
 平成25年度第4回  
 大阪府河川整備審議会

参考資料 5

## 過去の主な大規模水害

平成16年5月降雨による百舌鳥川の被災状況(尾羽根橋上流)

平成19年8月降雨による石津川の被災状況(宮本橋上流)

平成18年4月降雨による和田川の被災状況(草部橋下流)

平成23年1月降雨による石津川の被災状況(万崎橋下流)

昭和57年8月台風10号の被害  
 住宅:堺市において、全壊流失2戸、半壊3戸、一部破損1戸、床上浸水765戸、床下浸水5,320戸。  
 鉄道:国鉄(現JR)阪和線、南海本線、南海高野線、泉北高速鉄道、阪堺線が浸水や河川の増水で橋梁が危険な状態になり、全線不通。  
 河川:石津川で支川合流付近で護岸崩壊や溢水等、和田川では草部橋の落橋や河床低下による護岸崩壊。

## 大阪府における新たな治水対策の進め方

【基本理念】人命を守ることを最優先とする。

【取り組み方針】

- (1) 現状での河川氾濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

### 将来目標(長期的な治水目標)

府管理の全河川について、時間雨量80ミリ程度※1の降雨でも、川があふれて、家が流れ、人がなくなるようなことをなくす。

※1 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

### 当面の治水目標(今後20~30年の治水目標)

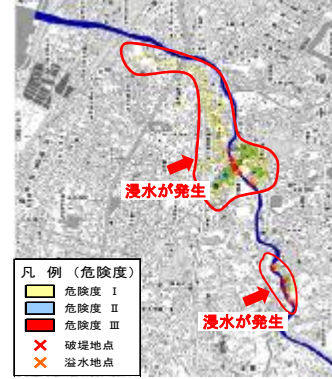
時間雨量50ミリ程度※2の降雨で床下浸水を発生させない。  
かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度※3の降雨で床上浸水を発生させない。

※2 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨

※3 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

## 地先の洪水リスクを開示

【現状】

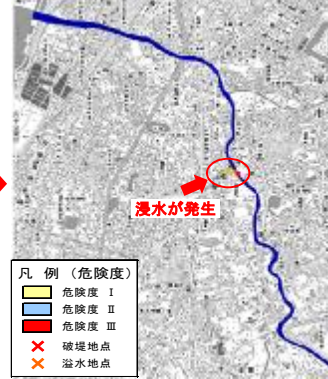


凡例(危険度)

- 危険度 I
- 危険度 II
- 危険度 III
- 破堤地点
- 溢水地点

現状における時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水リスク

【当面の治水目標達成後】



凡例(危険度)

- 危険度 I
- 危険度 II
- 危険度 III
- 破堤地点
- 溢水地点

当面の治水目標達成後における時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水リスク

※ 洪水による堤防破壊や溢水が生じるおそれがある地点のうち、被害が最大となる地点での堤防破壊や溢水を想定

★ 河川整備には長期間を要し、整備途中でも洪水リスクを減らす必要がある。★ 計画を超える規模の豪雨等により集中的豪雨や

## 地先の危険度低減の考え方

- 流出抑制 (凌ぐ) 雨が降っても河川へ出る水量を減らす。(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)
- 治水施設の保全・整備 (防ぐ) 河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。(河川改修・堆積土砂除去など)
- 耐水型都市づくり (凌ぐ) 河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。(家屋の耐水化・高床化などの促進)
- 情報伝達・避難 (逃げる) 河川からあふれそうなどときはできるだけ早く逃げる。(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、流域市と連携した避難体制づくりの促進など)

「逃げる」「凌ぐ」「防ぐ」施策を効果的・効率的に組み合わせ、地先の危険度を低減

## 「防ぐ」施策

### 河川整備の内容

#### 洪水対策の目標

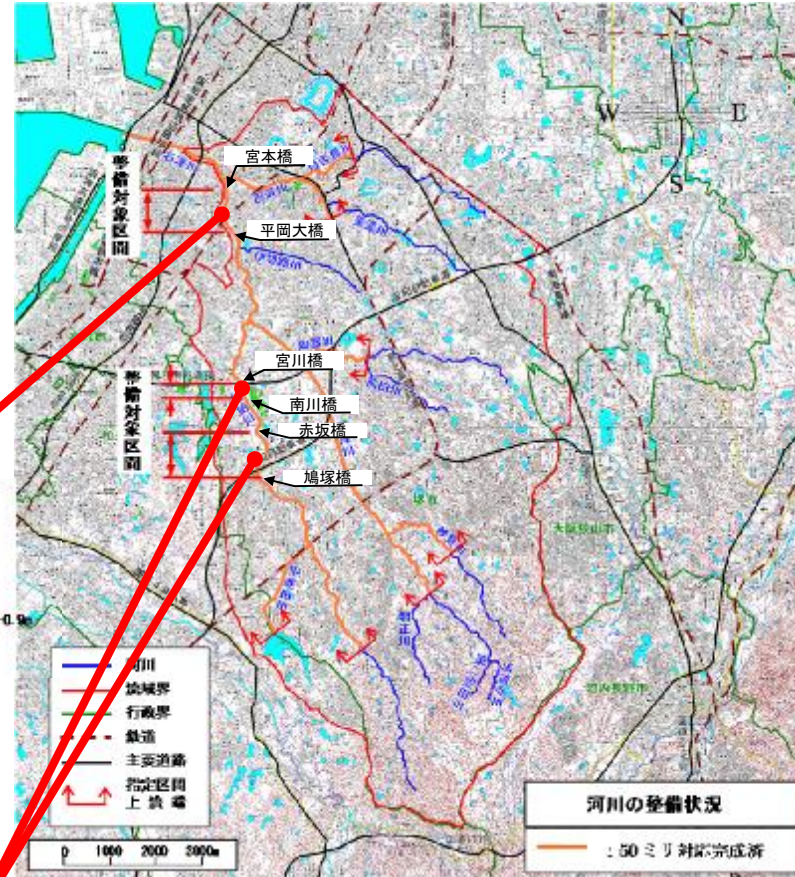
●石津川および和田川では、今後30年程度で目指すべき当面の目標として、時間雨量65ミリ程度の降雨で床上浸水以上の被害を防ぐ。

<具体的実施内容>

石津川: 河床掘削により流下能力の向上を図る。

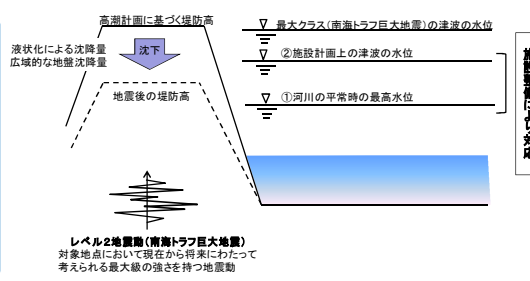
和田川: 堤防の余裕高が不足している区間の築堤を行い浸水被害の解消を図る。

百済川、百舌鳥川、甲斐田川、陶器川、妙見川については、現況において府域での今後20~30年程度で目指すべき当面の目標を確保できている。



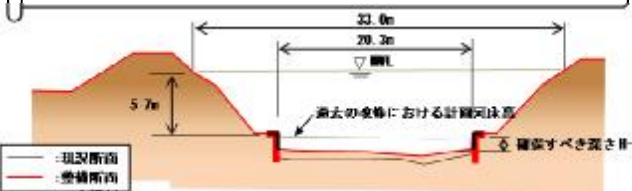
#### 地震・津波対策(石津川)の目標

●河口部の護岸・堤防の地震・津波対策として、レベル2地震動(南海トラフ巨大地震)による堤防の沈下等を考慮したうえで、施設計画上の津波が越流しないよう護岸・堤防を整備する。



#### 石津川(宮本橋~平岡大橋)

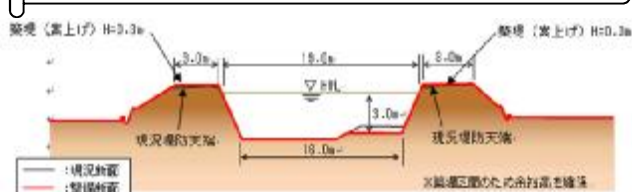
整備目標: 65ミリ程度、整備延長: 約L=1.0km



※当該区間では、過去の河川改修により時間雨量50ミリ程度の降雨に対応した整備が完了しているが、河川特性による河床低下が著しいため鋼矢板の継ぎ手の開きや腐食などが発生している。また、当面の治水目標に対応した計画河床高を下回る程に河床低下が進行している箇所もあることから、整備にあたっては、河床変動調査の結果を踏まえ適正な横断形を設定する。

#### 和田川(宮川橋~南川橋、鳩塚橋~赤坂橋)

整備目標: 65ミリ程度、整備延長: 約L=1.1 km



※当該区間では、基準の余裕高(H=0.8m)が確保できておらず、越水等のおそれがあるため、築堤による高上げ(H=0.3m)を行う。

## 河川の維持管理及び河川環境の整備と保全

河川管理施設 ⇒ 構造物の損傷、劣化状況等の把握に努め、補修箇所の優先順位を定めて計画的に補修を実施。

河道特性や河川管理施設の情報整理・蓄積した「河川カルテ」の作成と計画的な維持管理の実施。

土砂の堆積・植生の繁茂等 ⇒ 土砂の堆積状況を定期的に調査し、阻害率の高い区間を把握するとともに、地先の危険度等を考慮して計画的に土砂掘削等の対策を実施。

河床低下 ⇒ 流域全体における河床変動調査を基に河道の動的平衡状態を維持するための対策に取り組む。

河川空間 ⇒ 地域住民、NPO、自治体等と協働した河川美化活動による地域住民等の意識向上、ゴミのないきれいな河川空間の維持に努める。

連続性の確保 ⇒ 利用実態のない井堰の撤去や落差工の改善と合わせた水域の連続性の確保に努める。

みどりの風の促進 ⇒ 「みどりの大阪推進計画」に基づくみどりの風促進区において、河川を基軸とした地域ぐるみの緑化を推進。

水質の改善 ⇒ 地域住民や学校、NPO等と連携した環境学習の一環としたソフト活動による水質の改善を実施。



河川巡視



ボランティアによる河川清掃



石津川を基軸とした緑化の取組み

## 地域や関係機関との連携

- ため池の雨水貯留機能の保全やため池管理者に対して大雨に備えるための水位低下の呼びかけを実施
- 地域住民に対する各戸貯留等による雨水流出量低減に関する意識向上の啓発活動の推進
- 地域住民の代表者で構成される石津川流域交流会議による情報共有および地域での取り組み支援を実施
- 地域住民が中心となった「アドプト・リバー・プログラム」等、さまざまな地域活動を促進
- 多様な主体との協働・連携を図り、水と緑に親しみ文化にふれあう空間づくりの推進



ため池の雨水貯留機能の保全と活用



石津川流域交流会議の様子



大阪府アドプト・リバー認定式典(平成19年3月22日)